

構成府県市へのアンケート結果

回答府県市	A	B	C	D	E	F	G	H
ツキノワグマ対策を進める上での課題	生息状況・個体数が十分に把握できていない 住民の理解・協力が得られにくい 科学的知見・データの蓄積が不足している	生息状況・個体数が十分に把握できていない 科学的知見・データの蓄積が不足している 専門的知識を持つ職員・技術者が不足している 捕獲従事者(猟友会等)の高齢化・担い手不足 緊急銃猟の実施体制構築	緊急銃猟の実施体制構築 その他 ・「その他」の具体的な内容 →社会情勢等によりクマの目撃通報が増加し、本市では都度、現地確認等の対応を行っていることから、繁忙期や通報等が頻発するとそちらに時間を割かれることで、他の鳥獣被害対策(イノシシ、アライグマ、ニホンジカ等)実施に影響が出る。 →閉庁時に、クマの出没通報があった際の市職員の出勤体制。(イノシシ出没時の緊急対応等で契約している民間警備会社もクマについては危険性が高く対応できない)	緊急銃猟の実施体制構築	生息状況・個体数が十分に把握できていない 専門的知識を持つ職員・技術者が不足している 捕獲従事者(猟友会等)の高齢化・担い手不足 隣接府県市との情報共有が不十分 科学的知見・データの蓄積が不足している 緊急銃猟の実施体制構築	生息状況・個体数が十分に把握できていない 予算が不足している 専門的知識を持つ職員・技術者が不足している 捕獲従事者(猟友会等)の高齢化・担い手不足 住民の理解・協力が得られにくい 科学的知見・データの蓄積が不足している 緊急銃猟の実施体制構築	捕獲従事者(猟友会等)の高齢化・担い手不足 住民の理解・協力が得られにくい 緊急銃猟の実施体制構築 ・「その他」の具体的な内容 住民に対する予防的な被害対策の必要性の周知と推進、 近隣府県と足並みをそろえた管理体制の構築、市町を主体とした出沒対応体制の強化	その他 ・「その他」の具体的な内容 省令による捕獲規制
上記の課題について、特に深刻な課題や詳細な状況をご記入ください。	クマの目撃について住民の方が過敏になり、限りなくクマでないとと思われるものについても通報があり、判断が難しい(中には本当のクマと思われるものも含まれているため)	なし	なし	なし	⇒緊急銃猟制度が開始されたが、府内ではこれまでクマを銃猟で捕獲した経験者がいないため、緊急時にクマを撃てる人材が不足している。 ・出沒情報は年々多く寄せられているものの、クマと断定できるものは少なく、生息地域ではない府中部や南部でも、誤報と思われる通報が増え、住民の混乱を招いている。 ・捕獲に関する専門家がいないため、捕獲研修の際には他府県の研究所研究員等にお願ひせざるを得ない状況であり、広域的に人材派遣ができればありがたい。 ・緊急銃猟制度の研修について、広域連合の府県間で取組めればありがたい。	捕獲技術・放銃技術(知識)を有している者がいない(麻酔銃を取り扱えるものもない)	市町を主体とした出沒対応体制の強化(職員の異動が頻繁に行われる中、出沒の予防する対策や緊急時の円滑な対応体制をどのように確保するか)	
関西広域連合において実施してほしいツキノワグマ対策事業	・他市町村におけるクマ対策の取組の紹介	・府県市間の情報共有システムの構築 ・専門家の派遣・技術的助言 ・人材育成研修(職員・捕獲従事者向け)の実施	・専門家の派遣・技術的助言(特にツキノワグマ対策の経験や知識がない市町においては、出沒時の農薬散布等捕獲対応、緊急銃猟実施時に現場指揮、射手となる人員の派遣等、直接的、具体的な活動ができる人物が望ましい。) ・人材育成研修(職員・捕獲従事者向け)の実施 ・対策マニュアル・ガイドラインの作成	・府県市間の情報共有システムの構築 ・専門家の派遣・技術的助言 ・対策マニュアル・ガイドラインの作成	・府県市間の情報共有システムの構築 ・専門家の派遣・技術的助言 ・人材育成研修(職員・捕獲従事者向け)の実施 ・定期的な担当者連絡会議・意見交換会の開催 ・「その他」の具体的な内容 ⇒緊急銃猟制度の研修会の実施	・広域的な普及啓発・環境教育プログラムの開発 ・対策マニュアル・ガイドラインの作成	・府県市間の情報共有システムの構築	・特になし
関西広域連合において実施する事業の具体的な内容や方法について、ご要望やアイデアがあればご記入ください。	なし	・緊急銃猟を実施したことがある市町村職員から声を聞きたい ・他都道府県で実施されている優良事例を見学(事前に猟友会等と打合せをしている様子などから、どのようなケースを想定し、遂行するためにどのような連携・知識、考え方が必要なのかを確認)したい	→緊急銃猟実施市町村職員の体験談、課題等のヒアリング →緊急銃猟の実地集合研修(その他) ①近年、猟友会で使用が増加している市町への捕獲報告システムの実施事例 ②市街地におけるハナレザル対策についての研修	なし	・クマの出沒情報が寄せられた際、隣接している隣接市町(府県またぐ場合も含む)に通知がいくようなシステム(情報共有システム)の構築 ・行政職員向けに緊急銃猟に関する実際の発生を想定した研修の実施	「緊急銃猟を実施したことがある市町村職員からの助言を頂きたい」実施にあたって地元猟友会との関係の再構築、自治会等への説明等、どのような事前の対応・対策を行ったのか	関西広域連合内で緊急銃猟を実施した市町の事例紹介など	